

道有施設・設備の脱炭素化に向けて

令和7年(2025年)10月
北海道経済部ゼロカーボン推進局



計画の概要

① 計画策定の目的

2050年までのゼロカーボン北海道の実現に向け、道の事務・事業の実施に際し、率先して脱炭素化に取り取り組む

② 削減目標(2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標)

2013年度比で **50%削減(約15.6万t-CO₂)**

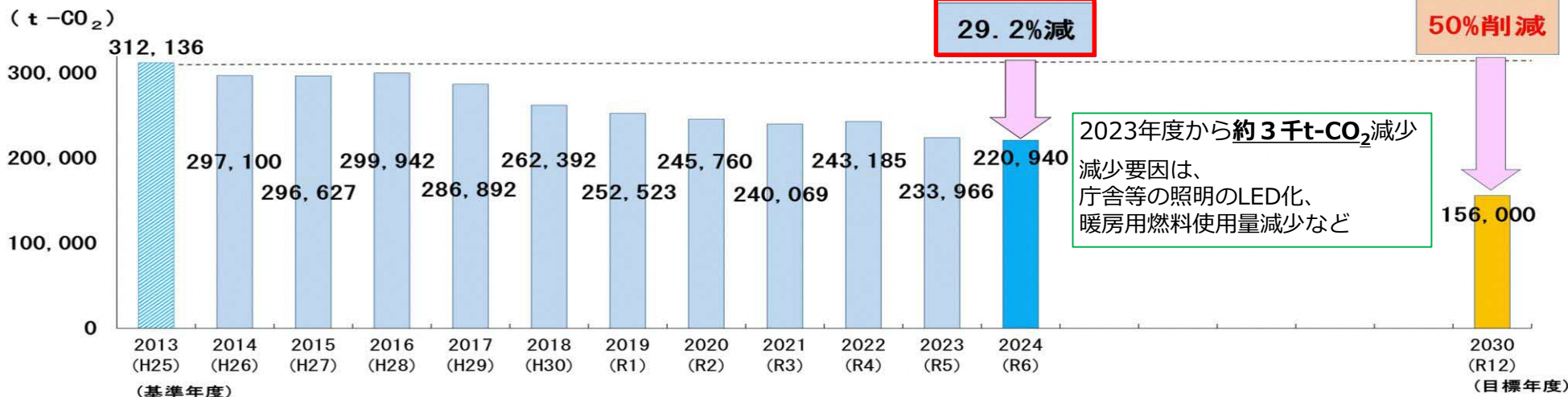
③ 目標削減に向けた主な取組

- ・ 電力使用等による排出量削減(照明LED化、太陽光発電)
- ・ 道有施設及び公用車の取組(ZEB化、次世代自動車導入)
- ・ 環境配慮契約等の取組
- ・ 環境に配慮したイベントの推進 など

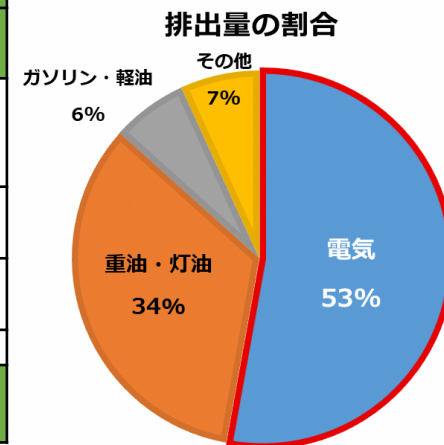
温室効果ガス排出量の状況(2024年実績)

2013年度比で **29.2%削減(約9.1万t-CO₂)**

<道の事務・事業における温室効果ガス排出量と削減目標との比較>



区分	主な排出源	排出量及び基準年度からの削減量			
		2013年度 (基準年度)	2023年度	2024年度	2030年度 (目標年度)
電気	庁舎等一般利用 ロードヒーティング 道道照明	186,592	117,251 【削減量】▲69,341	116,720 【削減量】▲69,872	58,248 【削減目標】▲128,344
重油 灯油	ボイラー 船舶等	88,083	76,388 【削減量】▲11,695	74,730 【削減量】▲13,353	71,533 【削減目標】▲16,550
ガソリン 軽油	公用車、船舶	22,602	14,950 【削減量】▲7,652	14,452 【削減量】▲8,149	11,360 【削減目標】▲11,242
その他	ガス、ヘリ燃料等	14,859	15,377	15,038	14,859
合計		312,136	223,966 【削減量】▲88,170	220,940 【削減量】▲91,196	156,000 【削減目標】▲156,136



道の事務・事業における 今後の取組について

- ① 庁舎等における照明設備のLED化
- ② 太陽光発電設備の導入
- ③ 道有施設のZEB化
- ④ 公用車(乗用車)の次世代自動車化



ZERO CARBON
HOKKAIDO

① 庁舎等における照明設備のLED化

節電効果が高く電気料金の削減にもつながる照明等のLED化の加速化を図ります。

<R7年度の取組>

■3万1千台の照明器具をLED化



② 太陽光発電設備の導入

電気自動車を導入する振興局に太陽光発電設備と充電設備の設置を行うほか、庁舎への発電設備の導入に向けた検討を行います。

<R7年度の取組>

■太陽光発電設備の設置(2施設)

■電気自動車充電設備の設置(3施設)

■PPAによる太陽光発電設備の導入に向けた準備・調整(1施設)



③ 道有施設のZEB化

道有施設の新築・改築等において、ZEB化を進めます。(R6年末時点で3施設竣工済)

<R7年度の取組>

- 設計 4施設
- 工事 7施設(うち2施設竣工予定)



④ 公用車(乗用車)の次世代自動車化

道の率先行動として電気自動車等の導入を行い、地域における次世代自動車の普及啓発にも活用します。

<R7年度の取組>

- 電気自動車(EV)の導入(3振興局)
- EV公用車カーシェアリングの試行(檜山)

